

古井の川通信

思いやる子 考える子 がんばる子

学校便り



出部小学校
R6.12.11

唯一無二の輝き

あっという間に12月を迎え、寒さも一段と厳しさを増してきました。寒暖の差が著しく、風邪などで体調を崩す子どもたちが増えました。学校では、こまめな手洗いとうがいの励行を進めています。ご家庭でも子どもたちの体調管理にご協力をお願いします。

さて、朝登校中に、元気よく「おはようございます。」とあいさつを交わしてくれる子どもたちから、たくさんの元気をもらっています。あいさつは世界共通のコミュニケーションツールで、あいさつすることで自分も幸せな気持ちになります。また、人と人を優しくつないでくれる魔法の言葉でもあります。今後もあいさつの大切さについて、ご家庭と学校が協力して子どもたちにしっかりと伝えていきたいと思えます。お力添えをお願いします。

校舎内には、その時々に応じて、子どもたちが図工の時間に制作した作品が展示されます。どの作品も一人一人の個性やエネルギーが溢れた素晴らしい作品ばかりです。先日、図工の時間を見る機会がありました。作品づくりに取り組む子どもたちの姿から、自分が小学生の時のことを思い出しました。私は図工が苦手で、特に絵を描くことが苦手でした。「さあ、このテーマで描いてごらん。」と言われても、何をどのように描いたらよいのかが頭に思い浮かばないのです。困り果てながらも、描き進めました。そんな時、偶然にも何とも不思議な絵が出来上がったのです。当時の担任の先生が私のところに来て、「その絵、素敵だよ。世界で一つだけの絵だね。」と言われ、クラス全体で紹介してくれたのです。こう描かなければならないという正解はなく、もっている感性と自由な発想、表現の偶然性が個性的な作品の誕生につながるということを教えていただいた瞬間でした。

今も子どもたち一人一人が作り上げる作品は、どれ一つとして同じものはなく、唯一無二の輝きを放っています。その子なりの自由な発想から生まれた作品からは、懸命に表現しようとする創作意欲が溢れ、作品に込められた思いが私たちに語りかけてくるようです。図工の時間が一人一人の子どもたちにとって、表現する楽しさを味わい、自由に発想することのすばらしさを実感することができる貴重な時間である、ということを確認できたひと時でした。

12月は世界人権デー、人権週間の月です。人が人として社会の中で自由に考え、自由に行動し、幸福に暮らせる権利、人権。本校の教育方針の柱のひとつに豊かな心の育成があります。図工の作品づくりに向き合う子どもたちの姿から、まさに人権が尊重されているからこそその作品の輝きであるということを改めて実感することができ、温かく豊かな気持ちになりました。

12月4日(水)のなかよし集会の様子



5年生海事研修



10月15日(火)16日(水)に5年生が渋川海事研修に行きました。「友情」「秩序」「実践」のテーマのもと、カッター研修や地引き網研修等を経験し、思いやり協力することの大切さを学びました。

授業参観・P 人権ありがとうございました

11月21日(木)に授業参観がありました。子ども達の頑張る姿を見ていただけたことと思います。人権講演会への参加もありがとうございました。次回の参観日は、1月18日(土)になります。よろしくお願ひ致します。



バス遠足に行ってきました

11月8日(金)に1~3年生の遠足がありました。1年生は福山市立動物園、2年生は福山自動車博物館、3年生はライフパーク倉敷へ行きました。天気にも恵まれ、どの学年も楽しい思い出を作ることができました。

